



わかたけ



春日部市立武里小学校
児童数 507 名
令和7年6月27日発行

「直接体験」の大切さ ～市内陸上大会から～

校長 小野 誠

6月5日（木）、真っ青な空のもと、正善小学校の校庭を会場に市内陸上大会が開催されました。武里小からは、4～6年生の各種目代表選手、選手以外の「6年生応援団」が参加しました。選手は、これまでの練習の成果を発揮して、一生懸命に競技に取り組み「輝く姿」を見せてくれました。また、応援団の皆さんは選手たちが全力を出し切れるように、声を枯らして応援してくれました。とても素敵な光景をたくさん見ることができた「嬉しい陸上大会」でした。

閉会式を終え、選手団と一緒に学校に戻ると、さらに嬉しかったことがありました。それは・・・、選手団より先に学校に戻っていた応援団が、正門から昇降口までアーチを作って出迎えてくれていたことです。競技直後、思うような結果が出ず悔し涙を流していたわかたけっ子を含め、その場の全員が「最高の笑顔」となって大会を終えることができたのです。とても素敵すぎる光景だと思いませんか？

さて、長く続いた「コロナ禍」の副産物として学校に導入された「一人一台端末」ですが、学習での活用はすでに日常です。こどもの習得スピードは驚くほど早く、本校では、1年生でもすでにタブレットを授業の中で活用しています。授業での活用場面として、調べ学習、発表、意見の集約、（AIドリルを使った）個々の課題に合わせた習熟問題、写真や動画の撮影・編集、まとめ学習等々、その用途に応じて活用しています。

AI、ChatGPT等の技術を、私たちの生活の随所で見かけるようになった「高度情報化社会」。これからの社会を生き抜くこどもたちにICTを活用する力を身に付けさせることは不可欠ですが、一方で、冒頭の陸上大会などで得られる経験は、他の何にも代えがたい「直接体験」です。全身や五感を使って、力いっぱい体を動かしたり、競い合ったり、みんなで協力して何かを成し遂げたり、「手触り」や「におい」を感じたり、という活動は、いかにICTを駆使しようとも決して味わえません。日々の学習において大切なことは、「ICTのよさ」と「紙と鉛筆のよさ」のそれぞれを場面ごとに使い分けるとともに、「直接体験」を重視することだと私は考えます。

残りわずかとなった1学期、「直接体験の大切さ」を肝に銘じながら、学期の締めくくりをしてまいりますので、今月も本校教育へのご理解・ご支援をお願い申し上げます。

令和7年度 市内陸上大会入賞



5年男子 100m:3位 15"17
1000m:1位 3'29" 3位 3'31" 5位 3'33"
400mリレー:5位 62"93
5年女子 100m:4位 16"31
1000m:3位 3'42" 4位 3'54"
400mリレー:5位 67"52
6年男子 100m:2位 14"35
1000m:3位 3'25" 6位 3'29"
400mリレー2位:59"13
6年女子 100m:2位 14"93 3位 15"15 4位 15"16
80mハードル:3位 14"20
1000m:3位 3'33" 5位 3'50"
400mリレー:2位 60"79
共通男女男子 走り幅跳び:1位 376 cm 3位 362 cm
ボール投げ:2位 48.89m
女子 走り幅跳び:1位 325 cm 4位 298 cm
走り高跳び:3位 110 cm

ホームページ用学校
だよりは個人情報
掲載していません。

令和7年度 市内硬筆展

※推薦の5人の作品は、6月28日(土)29日(日)に行われる県中央展に出品されます。

1年		特選	1年		金賞	1年		金賞
1年		金賞	1年		金賞	1年		金賞
2年		特選	2年		特選	2年		特選
2年		特選	2年		特選	2年		特選
3年		金賞	3年		特選	3年		特選
3年		特選	3年		特選	3年		特選
4年		推薦	4年		金賞	4年		特選
4年		金賞	4年		金賞	4年		推薦
5年		特選	5年		金賞			
5年		推薦	5年		特選			
6年		金賞	6年		推薦	6年		推薦
6年		金賞	6年		金賞	6年		特選

ホームページ用学校だよりは個人情報掲載していません。